

2021. 9. 9「富士山初冠雪」の記事を掲載しました。しかし、9. 23(木)の新聞朝刊に『富士山の初冠雪 異例の再観測へ』の見出しがありました。

記事によると「今月7日に発表した富士山初冠雪を見直すことを明らかにした」とあります。

本HP “富士山の初冠雪を確認するには、「定義」があるそうです。『その年の「最高気温日」を観測して以降に、山の全部または一部が、雪または白色に見える固形降水(ひょうなど)で覆われている状態を下から初めて望観出来たとき』とされています”

(9月9日掲載)

「その年の「最高気温日」を観測して以降」の「積雪」とありますので、初冠雪の観測日以降に最高気温値が記録される場合には、初冠雪との判断を見直す必要があります。

記事には、「今年8月4日に平均気温の最高値9. 2度を観測。9月7日に職員(甲府地方気象台)が冠雪を確認し、初冠雪とした。ところが、今月20日に日平均気温が10. 3度まで上がり、最高値を更新したことから見直しを決めた」と記されています。

現段階では、富士山の初冠雪の確認は保留され、気温の最高値によりますが、今後の積雪を待つということになりました。



9月7日 初冠雪と発表された時の富士山の姿です。(再掲)

山頂の雪、現在はすっかり溶けています。

温暖化により山頂の気温が上昇しているのでしょうか。見直し後の「初冠雪」の発表、いつになるのでしょうか。